



白杵ヶ岳

USUKINEGATAKE

難易度：中級～上級
標高：697m

山麓は円錐の形をした上品な姿をし、頂上からはふもとの町を一望できる。三重県側に数本の尾根が張出し、花崗岩でできた尾根上には無数の露岩・岩峰がみられ、山の名前となっている「ウス岩」「キネ岩」もその一つである。急斜面等もありスリップによる滑落等の危険が大きい。

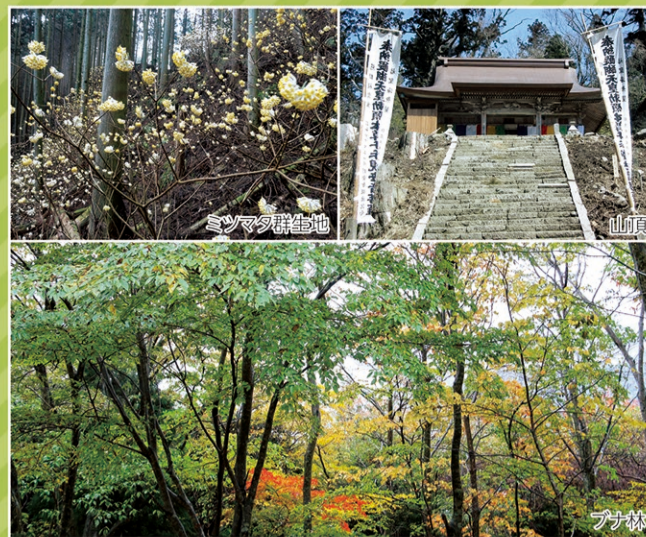


仙ヶ岳

SENGATAKE

難易度：上級
標高：961m

西峰(961m)と東峰(仙の石)の2峰からなる鈴鹿山脈南部を代表する秀峰で、眺望も素晴らしく東峰の仙の石は登山者を圧倒する。頂上から西側には長大な尾根「御所平」がなだらかに続く。4～6月にかけては、アカヤシオ・シロヤシオなどのツツジ科の花が多く咲く。



野登山

NONOBORIYAMA

難易度：初級
標高：851.4m

古くは鶏足山(けいそくざん)、現在では、野登寺(やとうじ、亀山市指定文化財)というお寺があることから「のぼりやま」として親しまれている。山頂付近のブナの自然林のほか、3～4月の登山では、全国屈指のミツマタ群生地を見ることができる。



四方草山

SHIOSOYAMA

難易度：上級
標高：667.0m

三角点のある頂上は地味だが、東側の霧ヶ岳・北山、南側の南峰から四方に伸びる尾根を含めると山体は広くて大きい。三角点のある頂上からの眺望はなく、やせ尾根・キレット・崩壊地等が多いが、北側の錐山(きりやま590m)や南峰(650m)は好展望である。



亀山7座とは

亀山市域における鈴鹿山脈(一部布引山地を含む)は、仙ヶ岳等の標高700m級の山々が連なっており、雄大な展望や多彩な登山ルートなど、登山の醍醐味を多くの方へ提供することができます。この貴重な観光資源を次世代へと継承するため、亀山市出身である世界的アルピニスト、故尾崎隆氏が世界の8,000m級14座のうち、7座の登頂に成功した偉業をたたえ、輝かしい登山人生の出発点であった鈴鹿山脈、特に石水溪の山々の登山であったことから、亀山市域の700m級の山を「亀山7座(野登山、仙ヶ岳、白杵ヶ岳、四方草山、三子山、高畑山、錫杖ヶ岳)」に認定しました。



三子山

MITSUGOYAMA

難易度：初級～中級
標高：568m

北峰・中峰・南峰の3つのピークからなる山である。中峰・南峰では眺望ないが最高峰の北峰では正面に四方草山、遠くには仙ヶ岳も望むことができる。鈴鹿峠から安楽峠への縦走路でキレット等危険性がある山域でもあるが、鈴鹿山脈南部に位置することから長い期間登山が楽しめる。



高畑山

TAKAHATAYAMA

難易度：初級～中級
標高：772.9m

山頂での解放感は素晴らしく360度の大展望で、伊勢湾・琵琶湖・鈴鹿の山々を望むことができる。東海自然歩道高畑山分岐入口から入ると三重県指定天然記念物「鈴鹿山の鏡石」を見ることができ、鏡石から鈴鹿峠を見下ろすことができる。



錫杖ヶ岳

SHAKUJOGATAKE

難易度：初級～中級
標高：676m

鈴鹿山脈の南側に位置する布引山地のなだらかな山地の中、北端に位置し、尖った岩峰は遠くからでも目立つ。頂上からの眺望は素晴らしい。昔は百丈岳(ひやくじょうだけ)、雀頭山(じゃくとうさん)とも呼ばれ、地元の人々に親しまれ、雨乞いを行う山ともなっていた。